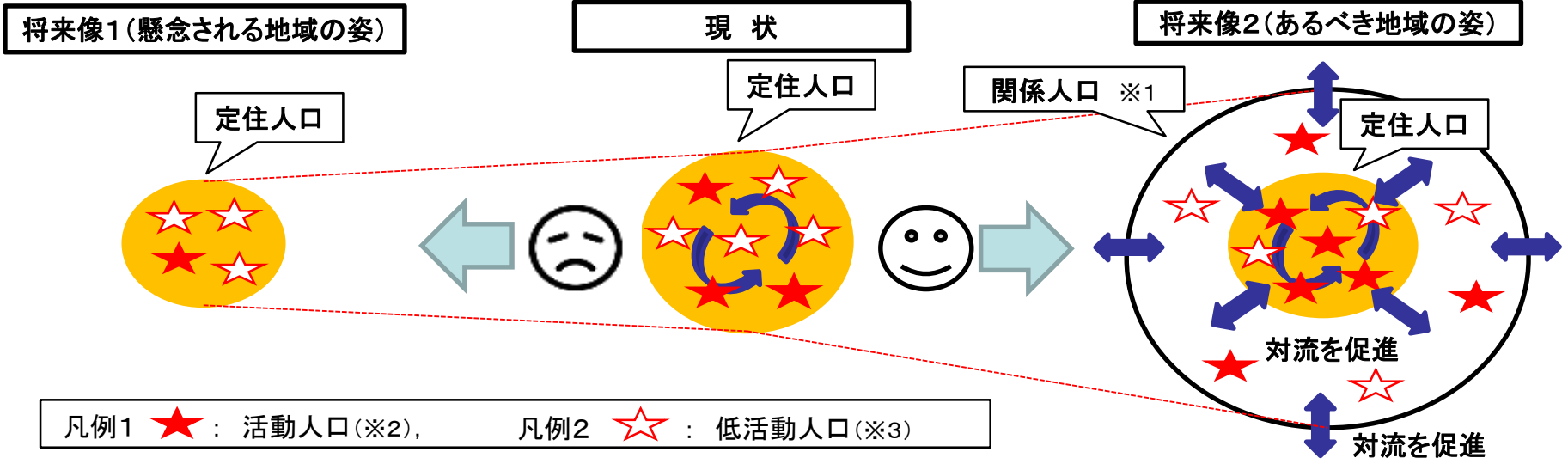


「住み続けられる国土」における「対流」の意義

- 本格的な少子高齢化、人口減少社会を迎える中、特にこれら課題が喫緊の課題となっている地域では、地域の社会・経済の活力低下を懸念
- 人々が世代を超えて、持続可能な暮らしを繋いでいくためには、地域の定住人口は減少傾向にあっても地域内外の「対流」を促進させることにより、地域の活動人口を増加させ地域の魅力を高めていくことが重要

対流を生み出すメカニズム	必要な要素（人、場、仕組み）	対処手法（人、場、仕組み）
<ul style="list-style-type: none"> ○新たな価値観に共鳴した人々がつながることを通じて、「新たなコミュニティ」を創造 ○定住人口や関係人口に内在する活動人口の拡大 ○外部アクターとの連携を強調する「新しい内発的発展」による地域づくりの展開を通じた対流の促進 	<p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題解決に向けた地域内外の人材 <p>【場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つながりを創るための「場」（コミュニティ創造拠点） <p>【仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つながりサポート機能 	<p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つながりサポーター、コミュニティデザイナーの育成 ○マス・ローカリズム（地域間の学び合い）の展開 <p>【場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ創造拠点等の整備（イニシャルコスト・ランニングコスト） <p>【仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つながりサポート機能の充実・強化（マニュアル、プログラム）



※1 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者のこと。
 ※2 「活動人口」とは、経済活動とは異なる価値基準を含め何らかの形で、地域の社会・経済活動に関心をもって継続的に関わる者のこと。
 ※3 「低活動人口」とは、地域に定住・関係人口として関わりはあるものの、地域の社会・経済活動への関心・関与が低い者や、関心があっても時間的な制約等から地域の社会・経済活動への関与が低い者のこと。

「対流」を起こすために必要な要素

- ①【人】：地域課題解決に向けた地域内外の人材
- ②【場】：つながりを創るための「場」(コミュニティ創造拠点)
- ③【仕組み】：つながりサポート機能

